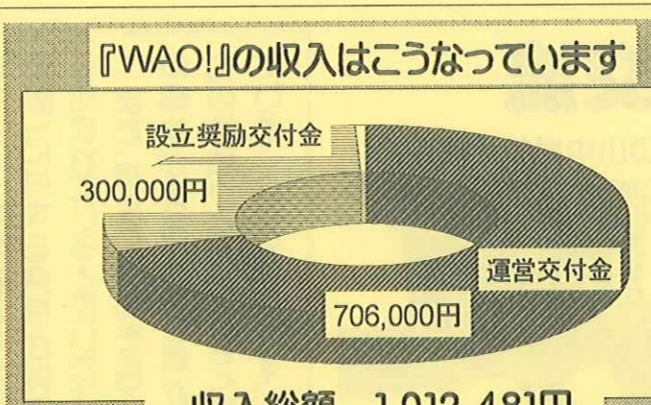




『WAO!』の活動は、南房総市からの交付金で賄われています。平成二十二年度は、『WAO!』が設立された年度であるため、当該年度限りの設立交付金に加算されています(左のグラフ参照)。

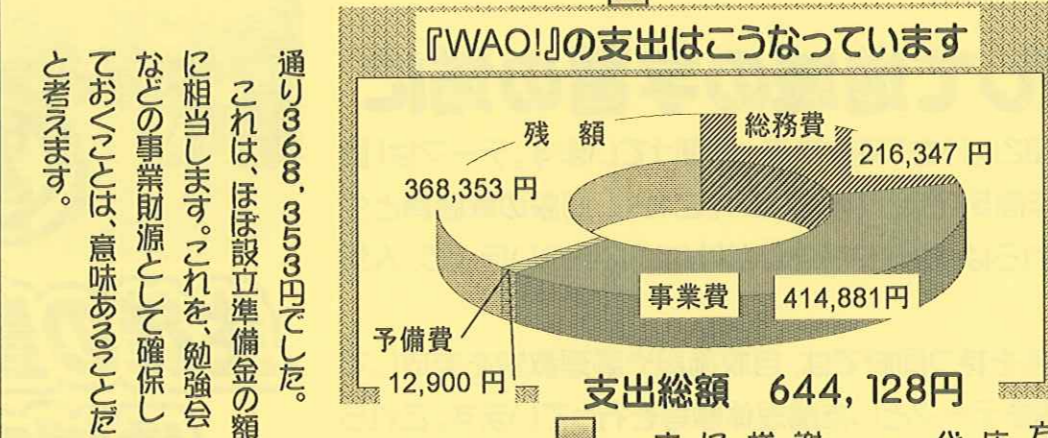
運営交付金706,000円は、基本金50万円(一律)に加え、世帯数に100円をかけて算出されたものです。また、トナツグラフのわずかな空白部分は、寄付金などです。

下のトナツグラフが、支出に関するグラフです。「総務費」は、『WAO!』の運営全体に関わり使われるお金です。



「総務費」は、『WAO!』の運営全体に関わり使われるお金です。通信・運搬費は、はがき代や切手代として使われました。消耗品費は、主に事務用品の購入に使われました。備品購入費は、各部会の活動や会議を記録したりするため、ビデオカメラ、ICレコーダー、DVDプレーヤーを購入するために使われました。会議費は、会議の際の飲み物代等に使われました。

「事業費」は、各部会が活動するために使われるお金です。消耗品費は、各部会が活動する際に、その回限りで使われてしまう物品の購入に充てられました。



『WAO!』の支出はこうなっています。これは、ほぼ設立準備金の額に相当します。これを、勉強会などの事業財源として確保しておくことは、意味あることだと考えます。

事業費の支出内訳です: 燃料費 13,248円, 食料費 8,295円, 消耗品費 46,408円, 謝金 346,930円. Total: 414,881円

また、残額は、上のグラフの事業費の中で一番多く使われたのは、講師の謝金でした。地域づくりを、会員及び地域の皆様と共に学習していくことは、これから大きい必要だと考えます。

発行者 南房総市・和地域づくり協議会『WAO!』  
 連絡先 南房総市役所和地域支所内 地域づくり支援員  
 電話 支援員 0470-47-5955  
 支所 0470-47-3111  
 E-mail qq4u9y89n@royal.ocn.ne.jp

## 地域づくり中核施設の建設準備は、現在このような状況です

残念ながら、3月11日の東日本大震災は、和地域地域の地域づくり中核施設の建設にも、少なからぬ影響を与えています。

災害地域復興に関わる建築資材等の払戻と価格の高騰、いわゆる風評被害による南房総地区への観光客の入りの減少、などなどです。

### 行政・生きがい棟

現在の「コミセン」の建物を一部増築して充てます。また支所機能は、このまま維持されます。

西側1階部分に、「和地域情報発信機能」「ギャラリー機能」を持つスペースを増築します。

東側1階部分に、「調理体験機能」「サロンの機能」を持つスペースを増築します。

### にぎわい棟

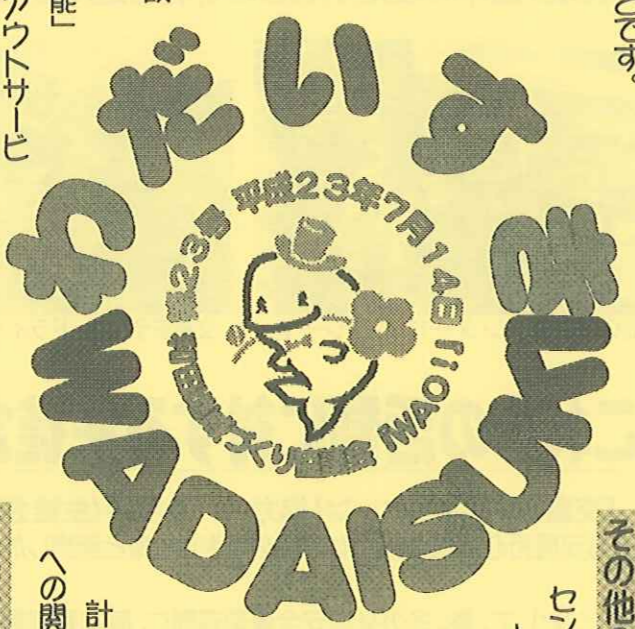
「コミセン」の東隣りに建設予定です。

「直売所機能」「物販機能」「レストラン機能」「テイクアウトサービスを含む」を持つスペースを建設します。

### その他の施設

屋外トイレが、にぎわい棟前の駐車場に、バスロータリーが旧公民館跡地(及び駐車場)に建設予定です。

※ 中核施設建設予算は、既に市の本年度予算に計上されています(市広報・予算説明書)。



### 「コミセン」の補修

上の写真にあるように、現在、外壁のタイルが剥落し、地震によるものではありません、安全のために囲いがされています。

また、3階市民ホールのエラコンに不具合が出て、使用できない状況です。この補修が、6月から9月にかけて行われる予定です。

### その他の部分の建設工事

「コミセン」の東西に付帯する「ギャラリースペース」「調理体験スペース」「にぎわい棟」の建設については、資材の価格の動向等を見たと、年度内の着工を見込んでいます。

### 直売所出品者への説明会

前号でお知らせしましたが、直売所立ち上げに係わる、出品者への説明会が、「北三原公民館」へすの木「やすらぎ」コミセンのホールにて、5回にわたって行われました。参加された方々の声は、千葉県普及員を予定しています。また、直売所の企画や運営全体に係わり、その運営に精通した「コンサルタント」による講演会を計画しています。

### 直売所出品者の皆様への勉強会

直売所へ出品される品目は、多岐に亘ると考えます。そこで、大まかな品目ごとに分けて勉強会を開催します。テーマは、「野菜」「花卉」「農産物加工品」「果樹」の4つです。講師は、千葉県普及員を予定しています。また、直売所の企画や運営全体に係わり、その運営に精通した「コンサルタント」による講演会を計画しています。

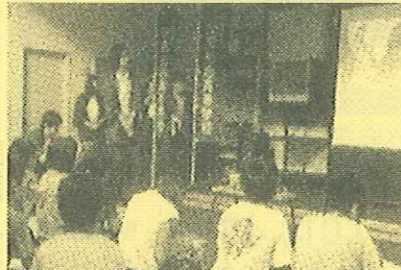
工事に係わる通行等の制約に加え、今夏、公共施設には25%以上の節電義務が課せられます。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。



## 市内小中学校との交流

拓心高校は、南房総市教育委員会と連携して、市内の小中学校の教育力の向上や環境の改善などに協力しています。

小中学校の授業に教員や生徒を派遣して、拓心高校が持つノウハウを子ども達に伝え、教育成果が上がるように支援しています。この取り組みは、既に10年以上の歴史を持っています。



小学校の授業に指導助手として参加

また数年前には、市のチャレンジ支援事業に「花と緑のまちづくり」のテーマで参加し、同校で種まき・育苗したものを希望する市内各小中学校に配布しました。そして、順次種まき・鉢上げなどを指導し、現在では各小中学校の生徒や教師が自らが行うまでになっています。

教師や生徒による出前授業、花いっぱい環境づくりなどで、南房総市の各小中学校は、このように大きな恩恵を受けています。ですから、市内の小中学校の



花いっぱい運動 和田中で指導



ヨーグルト作りを小学生に指導

児童生徒は、他の高校以上に拓心高校に親しみを持っています。

## 学校を開放して地域の学習の場に

拓心高校では、地域住民に向けた「開放講座」を設けています。テーマは「園芸」や「野菜作り」などで、年間5回ほどの講座です。これも、同校の教職員と生徒が指導に当たります。これらは、毎年抽選をしなければならないほどの、人気の取り組みの一つです。

また、畜産系列・調理系列を持つ同校では、自校施設や調理教室を開放してヨーグルト作りや地産地消をテーマとした調理体験等を行っています。これらの活動は、自校の授業との調整が必要となりますが、自家菜園中の事々、いずれも受講者には大変好評で、毎年定例化している小中学校があるほどです。

加えて拓心高校は、いろいろな動物を飼育しています。「マザー牧場」などにいかなくとも、動物とふれあい体験ができる。このことから、近隣の幼稚園・小学校などの「遠足」や「いのちの学習」の場となっています。ふれ合いをした上に



教室を開放して親子料理教室開催



幼稚園児が動物たちとふれあい

美味しい牛乳やヨーグルトが飲食できるとあれば、人気になるのも当然です。

「われら日頃の労作は／土に希望の種子をまき／額に汗する労力を／人の心の悦びと／資源にがえす国民の／聖き高き大使命」  
これは、拓心高校の校歌、2番の歌詞です。  
この歌詞の中には、建学の精神である「地域おこし」や「地域貢献」に対する意思が見事に盛り込まれていると思います。  
また、現在の活動を見ても、その精神が見事に引き継がれ、和田の地域づくりに大きく貢献していることが分かります。

## 建学当初から地域づくりに大きく貢献してきました

### 千葉県立安房拓心高等学校



## 生徒の豊かな学力を地域で活かす!

これらの、特色ある活動が認められ、拓心高校は昨年度、千葉県教育委員会から「魅力ある高等学校づくり大賞 優秀賞」、時事通信社から「教育奨励賞 努力賞」が贈られました。  
また、上記の交通安全運動への協力に対しては、館山署から毎年感謝状が贈られています。  
その他、各系列では積極的に実践や研究の発表を行い、最優秀賞等を数々受賞しています。  
そして、これらの努力が昨年度、就職希望者全員内定を勝ち取る結果にも繋がっています。

## 地域に出て活動

見出しにもあるように、拓心高校の生徒は、積極的に地域に出て活動しています。

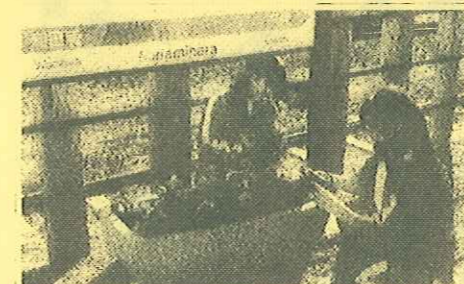
右の写真にあるように、平成17年度には土木系列の生徒達が、浅間山の山道を測量、標識や階段、ベンチなどを設置し、ハイキングコースとして整備をしました。そして毎年、和田町の観光協会等と連携して、ハイキングイベントを企画しています。



浅間山ハイキングコースを整備

下の写真は、JR南三原駅の景観づくりに協力したり、国道128号で交通指導員と共に、ドライバーに交通安全の呼びかけをする様子です。その際、自分達で栽培した、「ダイコン」や「シクラメン」等をプレゼントします。

また調理系列では、各種「コンテスト」や地域の「くじら料理を楽しむ会」などに、研究した「創作料理」を発表したり、持ち込んだりして参加しています。



南三原駅のプラントナーにパンプキンを



交通安全運動 ドライバーにシクラメンを

このように、地域にも深く関わり活動を続けています。

## これらの活動に対する生徒たちの思いは!

「交通安全キャンペーン」協力 学友会(生徒会)会長 逢坂時紋

私たち安房拓心高校学友会は、学校内外で地域と連携した行事を運営しようと努めています。

その一つとして、春、冬の交通安全運動週間に、館山警察署と協力して交通安全キャンペーンを行っています。春は花を、秋はダイコンをドライバーの皆さんに手渡ししながら安全運転を呼びかけると、驚かれたり、喜んで頂いたり、私達にはとてもやり甲斐のある行事です。

また、もう一つの大きな行事として、拓心祭(文化祭)を行っています。私たちの学習の成果を発表したり、専門科目を生かして生産した物品を販売して、地域の皆さんに本校にきて頂き楽しんでもらえるように全校を上げて取り組んでいます。

本校の特色を地域の皆様に発信できるように、これからもがんばって活動しますのでよろしくお願い致します。

「花と緑のまちづくり事業」コメント 園芸部部长 熊谷真直

私たち園芸部は、農業高校以来の伝統を活かして、草花や野菜の栽培を学び、実践しています。花や野菜を育てるのは、地道で苦勞の多い活動ですが、やり甲斐のある取組です。

また、私たちの学んだことを地域の皆さんに広げようと、「花と緑のまちづくり事業」を行っています。この活動は、私たちが南房総市内の小中学校の皆さんに花の苗の育て方を伝え、花の苗を育て、花と緑いっぱいの学校とまちをつくらせてもらおうという取組で、今年で5年目になるものです。秋冬併せて1万数千鉢の苗を供給したり、小中学校に出向いたり、病害虫防除のための農薬や道具を貸し出したりと、年々活動は充実してきています。

初めは私も不安でしたが、先輩たちの取り組みを引き継いで活動しています。後輩と市内の小中学生に、草花、野菜栽培をわかりやすく指導できるように、私たち自身、もっともっと知識と技術を身につけ、これからも頑張っていきたいと思っています。